



# ライスボールセミナー

～おにぎりをきっかけに研究と出逢う～  
ライスボールセミナーとは…  
おにぎりを食べながら、  
本学の若手研究者による発表を聞いて頂くセミナーです。

★おにぎりとお茶（いずれも無料）を用意してお待ちしています！★

時間：12：20～12：50 場所：C棟2F C272ラーニングスタジオ

第3回  
6/13(火)



講師：清水泰有  
政策科学研究科  
博士後期課程1年

## 「地域情報化政策における地域メディアの役割とは？」

地域開発政策として、「地域情報化」の取り組みが、日本の各地では行われ続けています。インターネットなどの情報技術が進化し続ける中で、従来地域情報を発信している「回覧板」や「広報誌」という地域メディアはどのように活用していくべきなのか？愛知県長久手市の事例調査から考えていきます。

研究分野：地域情報化政策、計画策定、回覧板

研究の道に進んだきっかけ：

大学在学時は同時通訳を専攻しており、将来は海外で就職することを目標にしておりましたが、防災ゲーミングシミュレーションのサマースクールに参加して以来、まちづくりというキーワードから地域に対する課題について研究してみたいと思ったのがきっかけです。

第4回  
6/27(火)



講師：島田大輔  
立命館アジア・  
日本研究機構  
研究員

## 「太田宇之助と中国 -中国専門記者の戦前・戦中・戦後-」

中国からも高く評価されていたリベラルな中国通ジャーナリストが、戦時中陸軍や対日協力政権と協力するに至りますが、残された史料を丹念に読むと、日中親善に対する一貫した理想、そしてそれが挫折していく様相が見えてきます。

研究分野：日本史、日中関係史、メディア史

研究の道に進んだきっかけ：

史料を扱うルールは厳密ですが、残された様々な史料から過去を追体験し、新しい歴史像や解釈を提示できるのが歴史学の魅力。それに魅せられて、この道に進んでしまいました。

～次回のライスボールセミナー開催予定日程～  
7月4日（火）、7月11日（火）です。お楽しみに！！